

RS

SHIKKUI
TAKUMI

RS シックイ 巧


リフォーム
サミット店

Supported by KANSAI PAINT

RS SHIKKUI TAKUMI

『RSシックイ巧』は、漆喰の持つ多彩な機能をそのままに、短い工期でお住いの壁紙(塩ビクロス)に1回塗るだけで、抗ウイルス、抗菌、消臭の機能を発揮します。



Function 1

これからの生活にも嬉しい、 抗ウイルス機能

RSシックイ巧は、微細なウイルスに効果を発揮します。壁や天井に塗装しておくだけで、付着したウイルス残存率が低減出来ますので、これからの暮らしに合ったインテリア用の塗料です。

ウイルスE(エンペロープあり)に対する抗ウイルス試験



※本製品は人の疾病の治療又は予防に使用されることを目的とした製品ではありません。
※薬機法(医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律)の関係上、特定のウイルス名が表記できないため「ウイルスE」と記載しています。
※すべてのウイルスや菌に対しての効果を保証するものではありません。

Function 2

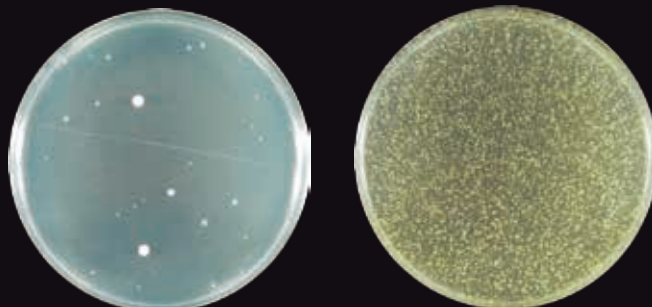
衛生的な空間を維持する 抗菌機能

菌やカビは、物から手そして口へと運ばれるおそれがあります。RSシックイ巧を塗った壁なら、漆喰の持つ抗菌機能により壁に付着した菌やカビの発生を抑制するので、小さなお子様や高齢者の生活空間などにもおすすめです。

抗菌試験

RSシックイ巧

無加工



※黄色ブドウ球菌24時間後(洗い出し液 1ml)

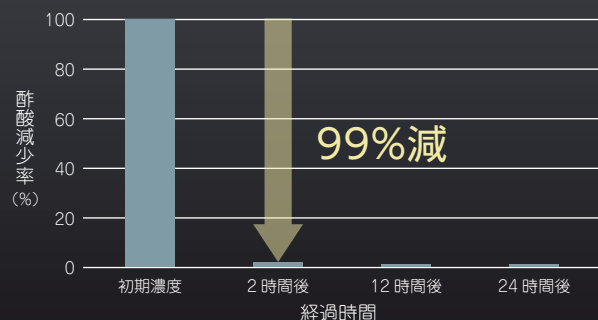


Function 3

空間の嫌なニオイを軽減、 頼れる消臭機能

生活する環境には、体臭(汗臭・加齢臭)やペット、タバコ・トイレ・ごみのニオイなど、不快な印象を与えるニオイも少なくありません。RSシックイ巧を塗った壁なら、こうした不快なニオイを吸着浄化する機能があります。リビングやトイレなど、ニオイが気になるところにおすすめです。

汗臭・加齢臭の消臭試験



※酢酸は汗臭・加齢臭の酸性悪臭成分です。

適用範囲

壁紙(塩化ビニルクロス)専用塗料です。塗装できる下地のカラーは、白系、アイボリー系までで、色味の明度90以上です。

塗装条件

180g/m²(塗付量150g/m²)、無希釈、1回塗り。

指定ローラー

【大家刷毛製造】
・マックスローラー(毛丈13mm)
・無泡ローラー(毛丈12mm)

【好川産業】

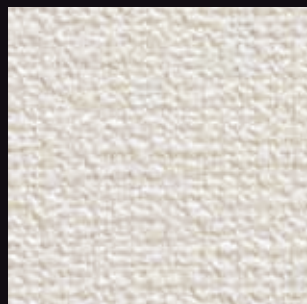
・無泡ローラー(毛丈13mm)

適用外

補修塗り(タッチアップ)は仕上り不良となるので避けてください。

塗装可能

白系・アイボリー系
(明度90以上)



塗装不可

デザイン壁紙

プリント壁紙



施工上の注意事項

【塗装時の注意事項】

- 本品は機能性材料であり、塗付量を確保してください。事前に塗装面積を把握し150g/ml以上となるように均一に塗り込んでください。塗付量が少ないと諸機能の発現が不十分となり、不足した場合は、増し塗りしてください。
- 1コートで塗付量を確保するため、ローラーは「マックスローラー」(大塚刷毛製造(株))をご使用ください。その他のローラーでは塗付量が不足しますので、使用は避けてください。
- 本品は無希釈の仕様です。加水しないでください。
- 先行剛毛塗りを行う際は、ナイロン剛毛を推奨いたします。(駄毛剛毛を使用すると剛毛が直ぐに劣化します。)
- 何度もローラーで擦ると艶が変わったり、塗装面が荒れたりと仕上がりが悪くなりますので避けてください。
- 本品は1コートで塗装するため、塗り残しがない様に注意して塗装ください。
- 本品は補修性が劣るため、部分補修は避けてください。補修する場合は、面を補修してください。
- 他の塗料との混合は絶対に行わないでください。
- 塗装時や塗装後に低温や高湿度環境下に置かれると、本来の仕上がり、機能を損なう恐れがありますので、換気を良くし、送風機で風をあてる等の処置にて湿度を下げ乾燥を促してください。密閉は絶対に避けてください。

【下地調整】

- 事前に塩化ビニルクロス等の浮きや剥がれ、継ぎ目のメクラなどが生じていないか確認し、不具合箇所は適切な処理を行い補正してください。(処理が不十分な場合、仕上がりに塗膜に影響を及ぼします。)
- 本品は一部の耐傷つき・耐汚れ加工が施された壁紙には、塗装出来ません。事前に、目立たない箇所を水性マジックで一本筋を引き、はじかなければ塗装可能です。
- 被塗装物がヤニなどで汚れている場合は、中性洗剤などで十分に汚れを除去し、よく乾燥させてから本品を塗付してください(本品は、一般塗料に比べヤニのブリードが発生し易いのでご注意ください)。

【養生等】

- 施工面以外に塗材が付着しないよう養生テープ・ビニールシート等で十分に養生してください。
- 塗装後早い時期に養生を除去してください。

- 本品施工面に養生テープを貼る場合(逆養生)は「車両用マスクングテープNo.7239(日東電工社製)」をご使用ください。他のテープでは、粘着材が黄色などに変色し、施工面に転写されるおそれがあります。

【材料の保管調整】

- 現場での材料保管は、室内、屋外ともシート掛けを行い、直射日光・凍結を防止し、高温(40℃以上)低温(5℃以下)での保管は避けてください。
- 使用前に缶を振る等必ず攪拌し、均一な状態にしてからご使用ください。

【その他注意事項】

- 低温(5℃以下)及び高湿度(85%以上)の場合は、施工を避けてください。
- 布クロスには塗装しないでください。
- ボードやコンクリート面には塗装しないでください。
- 本品取り扱い中は、十分な換気をしてください。特に低温時、密閉状態での施工は避けてください(光沢ムラが発生する場合があります)。
- 本品取り扱い中は、皮膚に付着しないよう専用マスク、眼鏡、手袋等保護具を着用してください(本品は高アルカリのため、皮膚の薬傷、目の損傷を生じることがあります)。
- 子供の手が届かないところに保存し、誤飲、誤食をしないようご注意ください。

【施工後の注意事項】

- 施工後の塗膜表面に付着した、ヤニ汚れやこすり汚れなどの軽微な汚れは、メラニンスポンジなどを用いて軽く水拭きするか、#400程度のサンドペーパーを用いて当該部位を軽く研磨することにより除去できますが、塗膜の主成分である消石灰と一緒に擦り取られますので、その部位の艶感や肌が変わる事があります。尚、研磨作業の際には、削り粉が目に入らないよう保護メガネ・防塵マスクなどの保護具を着用してください。
- 施工後の塗膜表面に醤油やコーヒー・お茶など液体の飛沫が付いた場合、性状上吸い込み易く塗膜内部まで浸透してしまうため、中性洗剤や水拭きによる汚れの除去は困難です。この場合、簡易養生・研磨の上、本品を用いて1~2回補修塗りを行ってください。(但し、補修塗りした部位の艶感や肌が変わりますのでご注意ください)。
- タバコや線香の煙成分にて塗膜が着色する場合がありますのでご注意ください。

ご使用上の注意事項

下記の注意事項を守ってください。詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。

- 取り扱い作業中・乾燥中ともに換気のよい場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。
- 吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
- 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・スリ巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。
- 本来の目的以外に使用しないこと。
- 指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。
- 缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
- 取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
- 使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
- 本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。
- 目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
- 皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。
- 吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。

対応	飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。
対応	火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。
保管	指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。
廃棄	本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)
施工後の安全	本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施工主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。 例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。



アルミ容器への移し替えは絶対に行わないでください。

(化学反応により容器が膨張したり破裂することがあります)